

会

報

社団法人 日本病理学会
 〒 113-0033
 東京都文京区本郷 2-40-9
 ニュー赤門ビル 4F
 TEL : 03-5684-6886
 FAX : 03-5684-6936
 E-mail jsp-admin@umin.ac.jp
 http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第 288 号

平成 24 年 (2012 年) 1 月刊

1. 理事会および総会

平成 23 年 11 月 16 日 (第 57 回秋期特別総会の前日) に日本教育会館にて理事会を, 11 月 17 日には同会場にて総会を開催した。これらの理事会, 総会では, 理事長報告, 各種委員会委員長報告を行った。

理事会では, Pathology International 次期編集長, 「診断病理」次期編集長, 第 102 回 (平成 25 年度) 総会宿題報告担当者, 平成 24 年度名誉会員有資格者, 平成 23 年度上期新入会員, をそれぞれ協議して決定した。

総会では, 平成 24/25 年度役員選任, 平成 21 年度・22 年度収支決算再修正案, 平成 23 年度収支予算修正案, 平成 24 年度事業計画並びに収支予算, 日本病理学会 100 周年記念事業関連, COI (利益相反) 指針・施行細則, 新法人移行 (新法入定款案), 学術評議員定款施行細則改定案, 事務局移転案, 第 59 回 (平成 25 年度) 秋期特別総会会長および第 103 回 (平成 26 年度) 総会会長について協議し, それぞれ原案のとおり決定した。

2. 学術集会

(1) 第 57 回 (平成 23 年度) 秋期特別総会

昭和大学を世話機関として諸星利男会長のもとで, 平成 23 年 11 月 17 日 (木)~18 日 (金) の 2 日間, 日本教育会館にて開催された。特別講演 1 題, 学術研究賞演説 (A 演説) 9 題, B 演説 2 題, シンポジウム 2 件 10 題, 病理診断シリーズ 2 題, ポスターセッションの発表と討論が行われた。会期前日には, 昭和大学主催のサテライトイベント, 会期後には, IAP 病理学教育シンポジウム・スライドセミナーが開かれた。

(2) 今後の予定されている学術集会は, 以下のとおりである。

1) 第 101 回 (平成 24 年度) 総会

世話機関: 慶應義塾大学

会長: 岡田保典教授

会期: 平成 24 年 4 月 26 日 (木)~28 日 (土)

会場: 京王プラザホテル

2) 第 58 回 (平成 24 年度) 秋期特別総会

世話機関: 藤田保健衛生大学

会長: 黒田 誠教授

会期: 平成 24 年 11 月 22 日 (木)~23 日 (金)

会場: ウィンクあいち

3) 第 102 回 (平成 25 年度) 総会

世話機関: 札幌医科大学

会長: 佐藤昇志教授

会期: 平成 25 年 6 月 6 日 (木)~8 日 (土)

会場: ロイトン札幌他

4) 第 59 回 (平成 25 年度) 秋期特別総会

世話機関: 山梨大学

会長: 加藤良平教授

会期および会場は未定

5) 第 103 回 (平成 26 年度) 総会

世話機関: 広島大学

会長: 安井 弥教授

会期および会場は未定

3. 理事長報告 青笹克之理事長 (常任理事会及び各種委員会報告)

(1) 4 月 30 日の総会において学術評議員の 65 歳定年制について承認された。平成 24 年 1 月 1 日から制度を施行する。それ迄にホームページ, 支部のメーリングシステムを利用して会員に学術評議員 65 歳定年制の内容を告示することとした。

(2) 東日本大震災への義援金として, 日本病理学会一般会計からの 500 万円を「日本病理学会」名で, 100 回総会参加者からの募金を「日本病理学会会場募金」名で, 100 周年記念事業からの 500 万円を「日本病理学会 100 周年記念事業」名で, それぞれ日本赤十字社に送付した。

(3) 新法人移行申請について (平成 25 年 4 月からの新法人移行については, 公益社団法人を目指すか, 一般社団法人を目指すかについて, WG で検討した結果, 一般社団法人申請の方向で移行準備を行うことが, 3 月 28 日開催の理事会で承認された。4 月 30 日の総会において検討の経緯が報告された。新法人移行 WG が設置され申請の準備が行われて来た。

(4) 本学会一般会計については大幅な累積赤字となっている。この財務状況の改善のため, 今後は毎月の支出に対して, 事務局から財務委員長に「支出承認依頼書」を提出し, 承認をうけることにした。

(5) 100 周年記念事業の約 2,300 万円の収支差額 (情報管理ネットワークセンター運営費 5 年分 500 万円を

含む)の使途として「日本病理学会 100 周年記念事業特別基金」プロジェクトの募集を行うこととなった。応募された7件のプロジェクトについて本年10月21日に100周年記念事業財務委員と病理学会財務委員よりなる合同委員会を開催し、5件を採択した。なお募集は基金の設置が総会で承認されることを前提としている。

- (6) がん取扱い規約拡大委員会では、各学会で刊行している規約の印税の分配、費用負担、編集方法について関係学会、団体と話し合いを開始した。これまでに整形外科学会、産科婦人科学会、泌尿器科学会、脳神経外科学会、日本医学放射線学会と申し合わせ書に調印した。
- (7) 厚生労働省ではがん拠点病院強化に予算をつけているが、その一環として、病理専門医受験に必須の講習会受講者の参加費用を補助する方向で検討がなされている。
- (8) 「病理学会」の名前を使用した出版物について現在「日本病理学会編集協力」として刊行している文光堂の「腫瘍病理鑑別診断アトラス」シリーズの内容については、学会で承認を得るシステムになっていないことから、今後の刊行分については、「日本病理学会編集協力」の文字をはずすことに病理学会と文光堂で合意した。「病理学会」の名前を使用した出版物を刊行する場合の、明確なルールづくりを企画委員会で進めている。
- (9) 上田財務委員長より専門医試験の実施に係わる謝金・標本作製料、通信費、旅費、教室協力費等についての見直しをなされ、新しい基準が提案された。
- (10) 病理専門医試験について
 - ① 今年は83名が受験し、73名が合格した。合格率は88%である。
 - ② 来年の試験は名古屋大学を会場とし、7月最終土日に実施する予定である。実施委員長も内定している。
 - ③ 口腔病理専門医試験は10名が受験し、7名が合格した。
- (11) COI (Conflict of interest) 申告については、今春の理事会で正式承認されている。来年4月より就任の新役員から申告書提出が義務づけられる。
- (12) 学術評議員資格について、WGを結成して検討した結果(責任者: 向井副理事長)が試案として示された。
- (13) 専門医制度評価・認定機構より各学会に依頼のあった研修施設サーベイヤーについて向井理事をチーフサーベイヤーとして推薦した。
- (14) 平成23年4月の財務委員会及び理事会で仮承認されていた平成21、22年度収支計算書の修正点について、上田財務委員長より説明があった。前回提示分は、本来特定資産である100周年記念事業特別会計を流動資産に合算していたため、その分の金額を一般会計赤字に上乘せし、総合計金額の辻褄をあわ

せるような形になっていた。これを修正した結果、一般会計の累積赤字が21年度は約6,400万円に、22年度は約4,800万円となり、一般会計の累積赤字が約4,000万円減少することになった。今後こうしたことがないように、顧問会計士と十分な対応策を検討することとした。

- (15) 事務局長の給与について、新たに管理職手当(月額72,700円)を新設し、支給することとした。10月の給与より適用する。
- (16) 学会事務所移転については、総会で会員の承認を得ることが前提であるが、100周年記念事業特別プロジェクトとして内定したこともあるので、上田財務委員長を中心にWGを設置し、活動を開始することになった。
- (17) 学術委員会が開催され、第102回総会時の宿題報告担当者として、福本学学術評議員(東北大学)、中山淳学術評議員(信州大学)、八木橋操六学術評議員(弘前大学)の3名を選出した。あわせて第58回総会について、診断シリーズ担当者2名を選び、シンポジウムのテーマは黒田会長に一任した。
- (18) 松田道行学術評議員の、持田記念学術賞受賞が決定した。
- (19) 昨年秋に締結された日中病理学交流協定に基づき、10月22～23日杭州で開催された第17回中国病理学会に日本病理学会より3名が参加した。
- (20) 口腔病理専門医研修指導医制度が開始されるのに伴い、その認定の告示を年内に行う予定である。
- (21) “Pathology International”次期編集長が坂元亨字学術評議員(慶應義塾大学)に決定した。
- (22) 「診断病理」次期編集長が安田政実学術評議員(埼玉医科大学国際医療センター)に決定した。
- (23) 第9回日本病理学会カンファレンスは、池田栄二学術評議員(山口大学)を世話人とし、「血管生物学から挑む疾患病態解析—がん、炎症、循環障害、再生医学—」をテーマに、山口県山口市にて平成24年8月3日(金)・4日(土)に開催予定である。

4. 病理専門医制度運営委員長報告 深山正久委員長

(1) 病理専門医資格審査委員会報告

今年度の病理専門医資格更新申請者393名のうち、382名の更新が認められた。病理業務記載のない1名、単位不足3名、証拠書類のない者7名に書類の再提出をお願いする。更新の条件を満たすことが出来ない場合は、「更新保留者」となり、資格は一旦停止となる。条件をみれば、年1回更新の申請が可能であるが、いつまで可能か、という点での規則がなかった。理事会での審議の結果、3年まで認めるということになった。学会の参加証の保存に十分留意されたい。

(2) 病理専門医施設審査委員会報告

新規の申請の審査を行い認定施設A認定1件、B認定6

件、また登録施設24件申請を認めた。

(3) 病理専門医研修者に研修手帳配布について

秋の学会終了後、申請の受付を開始する。手帳の配布は来年2月を予定している。

(4) 来年の病理専門医受験申請の注意事項について

2013年には病理学会が札幌で6月に開催される予定である。このため、剖検講習会が専門医試験受験申請締め切りの後になる。また、最近では開催時期がゴールデンウィーク近くとなるため申請締め切りぎりぎりとなる。このため、病理研修者には、余裕をもって早めに剖検講習会を受講するように、勧めていただきたい。

(5) 専門医制度を取り巻く状況について

平成23年10月13日に厚生労働省は「専門医の在り方に関する検討会」を開始した。月1回のペースで検討会を開催し、平成24年夏ごろに中間報告を取りまとめ、平成24年度内を目標に最終報告書の取りまとめを行う予定である。他方、社団法人「日本専門医制評価・認定機構」も専門医制度について議論を重ねている。本学会病理専門医制度も両者の影響を受けられると思われるため、これらにつき今後も注視し、また会員からも情報提供をいただきたい。

5. 平成24年度/25年度役員選任について

平成24年度/25年度の役員（理事・監事）は、以下のとおり選任された。なお、就任日は、平成24年4月1日からとする。

○理事：19名（ABC順）

理事長	深山正久
理事	伏木信次
理事	笠原正典
理事	加藤良平
理事	黒田誠
理事	根本則道
理事	野島孝之
理事	落合淳志
理事	小田義直
理事	岡田保典
理事	笹野公伸
理事	白石泰三
理事	高橋雅英
理事	上田真喜子
理事	八木橋操六
理事	山口朗
理事	安井弥
理事	横山繁生
理事	吉野正

○監事：2名（ABC順）

監事	井藤久雄
監事	中沼安二

○支部長（兼務）：7名（地区順）

北海道	笠原正典
東北	八木橋操六
関東	加藤良平
中部	野島孝之
近畿	伏木信次
中国四国	吉野正
九州沖縄	横山繁生

6. 平成21年度収支決算修正案について

社団法人日本病理学会平成21年度収支決算書について、100周年記念事業関係費の記載を明瞭化したため、修正案を提示し、原案のとおり決定した。

1) 収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

（単位 円）

科目	予算額	決算額	差異	備考
I. 収入の部				
1. 基本財産運用収入	50,000	12,019	△ 37,981	
受取利息収入	50,000	12,019	△ 37,981	
2. 会費収入	71,510,000	74,692,000	3,182,000	
正会員・学術評議員会費	29,000,000	29,212,000	212,000	
同終身会費	3,000,000	3,600,000	600,000	
同一般会員会費	27,000,000	29,323,000	2,323,000	
学生会員会費	10,000	0	△ 10,000	
賛助会員会費	150,000	150,000	0	
機関会員会費	350,000	335,000	△ 15,000	
病理専門医部会員会費	12,000,000	12,072,000	72,000	
3. 事業収入	122,700,000	135,440,483	12,740,483	
学術集会収入	80,000,000	94,330,511	14,330,511	
論文掲載料収入	900,000	1,160,828	260,828	
広告料収入	800,000	936,600	136,600	
刊行物発行収入	14,000,000	12,718,500	△ 1,281,500	
専門医制度収入	16,000,000	15,942,000	△ 58,000	
病理専門医部会収入	4,000,000	3,405,513	△ 594,487	
講習会等収入	4,500,000	4,421,000	△ 79,000	
賠償責任保険事務費収入	2,500,000	2,525,531	25,531	
4. 寄付金収入	0	3,680,000	3,680,000	
100周年記念事業寄付金収入	0	3,680,000	3,680,000	平成21年度より新規
5. 特定資産取崩収入	2,700,000	23,180,000	20,480,000	
学術医療振興基金取崩収入（終身会費分）	2,700,000	3,180,000	480,000	
学術医療振興基金取崩収入（100周年記念事業用）	0	20,000,000	20,000,000	
6. 雑収入	3,400,000	4,732,353	1,332,353	
受取利息収入	400,000	110,923	△ 289,077	
雑収入	3,000,000	4,621,430	1,621,430	
当期収入合計（A）	200,360,000	241,736,855	41,376,855	
前期繰越収支差額	44,851,000	62,864,620	18,013,620	
収入合計（B）	245,211,000	304,601,475	59,390,475	

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
II. 支出の部				
1. 事業支出	161,000,000	175,947,579	14,947,579	
学術集会経費	84,500,000	93,061,189	8,561,189	
学会誌発行経費	29,000,000	27,317,770	△ 1,682,230	
会報発行経費	2,500,000	2,948,400	448,400	
剖検輯報刊行経費	10,500,000	10,921,737	421,737	
専門医制度運営経費	9,000,000	10,008,963	1,008,963	
病理専門医部会経費	8,000,000	8,429,997	429,997	
支部運営経費	6,500,000	6,500,000	0	
学術奨励等経費	4,500,000	3,174,705	△ 1,325,295	
講習会等経費	3,500,000	3,406,101	△ 93,899	
各種委員会経費	3,000,000	4,350,703	1,350,703	
事業人件費	0	5,828,014	5,828,014	管理費人件費より一部を科目変更
2. 管理費	33,130,000	32,727,711	△ 402,289	
人件費	15,000,000	8,464,998	△ 6,535,002	一部を事業人件費へ科目変更
福利厚生費	2,000,000	2,145,720	145,720	
交通費	300,000	270,000	△ 30,000	
通信運搬費	3,000,000	2,776,736	△ 223,264	
会議費	1,500,000	1,658,312	158,312	
印刷費	2,500,000	1,963,105	△ 536,895	
備品費	200,000	0	△ 200,000	
消耗品費	500,000	255,483	△ 244,517	
光熱費	230,000	241,254	11,254	
賃借料	2,700,000	3,958,243	1,258,243	OA 機器リース料
諸会費	900,000	900,000	0	
補助金	200,000	0	△ 200,000	
修繕費	100,000	0	△ 100,000	
嘱託料	2,000,000	2,458,500	458,500	
租税公課 (消費税等)	1,500,000	1,088,500	△ 411,500	
(法人税等)	0	5,947,017	5,947,017	法人税等納付
雑費	500,000	599,843	99,843	
3. 特定預金支出	4,600,000	28,905,974	24,305,974	
退職給与引当預金取得支出	1,600,000	1,600,000	0	
学術医療振興基金取得支出	3,000,000	3,637,836	637,836	
国際交流基金取得支出	0	8,028	8,028	
100周年記念事業引当預金取得支出	0	23,660,110	23,660,110	基金取崩および寄付金
4. 予備費	1,000,000	0	△ 1,000,000	
当期支出合計 (C)	199,730,000	237,581,264	37,851,264	
当期収支差額 (A-C)	630,000	4,155,591	3,525,591	
次期繰越収支差額 (B-C)	45,481,000	67,020,211	21,539,211	

2) 貸借対照表

平成 22 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	134,776,877		
前払金	423,654		
未収金	518,970		
流動資産合計		135,719,501	
2. 固定資産			
基本財産			
基本財産	30,000,000		
基本財産合計	30,000,000		
その他の固定資産			

特定資産			
学術医療振興基金	98,990,518		
100周年記念事業引当預金	23,660,110		
国際交流基金	20,133,830		
退職給付引当預金	17,500,000		
特定資産合計	160,284,458		
什器備品	84,957		
保証金	930,000		
その他固定資産合計	161,299,415		
固定資産合計		191,299,415	
資産合計			327,018,916
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	51,823,000		
未払金	14,971,166		
預り金	1,905,124		
流動負債合計		68,699,290	
2. 固定負債			
退職給付引当金	17,500,000		
固定負債合計		17,500,000	
負債合計			86,199,290
III. 正味財産の部			
正味財産			240,819,626
(うち基本金)			(30,000,000)
(うち正味財産当期増加額)			(8,281,565)
負債及び正味財産合計			327,018,916

3) 正味財産増減計算書

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	12,019	49,694	△ 37,675
基本財産受取利息	12,019	49,694	△ 37,675
② 受取会費	74,692,000	69,363,000	5,329,000
学術評議員会費	29,212,000	27,030,000	2,182,000
一般会員等会費	33,408,000	30,621,000	2,787,000
病理専門医部会費	12,072,000	11,712,000	360,000
③ 事業収益	135,440,483	143,736,738	△ 8,296,255
学術集会収入	94,330,511	100,509,196	△ 6,178,685
論文掲載料収入	1,160,828	986,414	174,414
広告料収入	936,600	726,600	210,000
刊行物発行収入	16,124,013	17,801,053	△ 1,677,040
専門医制度収入	15,942,000	16,472,000	△ 530,000
講習会等収入	4,421,000	4,752,000	△ 331,000
賠償保険事務費収入	2,525,531	2,489,475	36,056
④ 受取寄付金	3,680,000	0	3,680,000
寄付金収入	3,680,000	0	3,680,000
⑤ 雑収入	4,732,353	11,162,576	△ 6,430,223
受取利息	110,923	361,241	△ 250,318
著作権協会分配金	899,200	899,200	
科学技術振興事業団	542,640	727,976	△ 185,336
Pathol Int ロイヤリティ	2,510,240	3,309,138	△ 798,898
医中雑刊著作権使用料	25,620		25,620
刊行物編集協力金	621,240		621,240
雑収入	22,490	6,764,221	△ 6,741,731

経常収益計	218,556,855	224,312,008	△ 5,755,153
(2) 経常費用			
① 事業費			
学術集会費	93,061,189	99,161,098	△ 6,099,909
学会誌発行費	27,317,770	30,640,588	△ 3,322,818
会報発行費	2,948,400	3,090,675	△ 142,275
剖検輯報発行費	10,921,737	11,008,914	△ 87,177
専門医制度運営費	10,008,963	9,370,081	638,882
病理専門医部会費	8,429,997	8,838,396	△ 408,399
支部運営費	6,500,000	5,850,000	650,000
学術奨励等費	3,174,705	2,880,391	294,314
講習会等経費	3,406,101	4,578,372	△ 1,172,271
各種委員会費	4,350,703	3,172,120	1,178,583
事業人件費	5,828,014	5,814,132	13,882
事業費計	175,947,579	184,404,767	△ 8,457,188
② 管理費			
人件費	8,464,998	8,328,807	136,191
退職給付費用	1,600,000	1,600,000	0
福利厚生費	2,145,720	2,078,514	67,206
交通費	270,000	275,000	△ 5,000
通信運搬費	2,776,736	2,722,620	54,116
会議費	1,658,312	1,261,629	396,683
印刷費	1,963,105	1,623,896	339,209
消耗品費	255,483	316,062	△ 60,579
光熱水道費	241,254	236,371	4,883
賃借料	3,958,243	2,523,728	1,434,515
諸会費	900,000	900,000	0
嘱託料	2,458,500	3,351,000	△ 892,500
租税公課	7,035,517	6,045,000	990,517
雑費	599,843	559,560	40,283
管理費計	34,327,711	31,822,187	2,505,524
経常費用計	210,275,290	216,226,954	△ 5,951,664
当期経常増減額	8,281,565	8,085,054	196,511
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	8,281,565	8,085,054	196,511
法人税、住民税及び事業税			0
当期一般正味財産増減額	8,281,565	8,085,054	196,511
一般正味財産期首残額	232,538,061	224,453,007	8,085,054
一般正味財産期末残額	240,819,626	232,538,061	8,281,565
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残額	0	0	0
指定正味財産期末残額	0	0	0
III 正味財産期末残高	240,819,626	232,538,061	8,281,565

4) 財産目録

平成 22 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金・預金			
現金	現金手許有高	152,107	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	12,889,081	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	15,086,543	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	33,090,793	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	60,471,548	

普通預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店	140,622	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	929,077	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	361,659	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	9,606,077	
定期預金	みずほ銀行本郷支店	131,945	
郵便振替貯金		1,917,425	
現金・預金合計		<u>134,776,877</u>	
(2) 前払金			
家賃		195,300	
会費自動振替手数料		228,354	
前払金合計		<u>423,654</u>	
(3) 未収金			
学会誌発行収入等		518,970	
流動資産合計			135,719,501
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	(普通三菱東京UFJ銀行本郷支店)	30,000,000	
基本財産合計		<u>30,000,000</u>	
(2) その他の固定資産			
特定資産			
学術医療振興基金	(普通三菱東京UFJ銀行春日町支店)	98,990,518	
100周年記念事業引当預金	(郵便振替貯金)	23,660,110	
国際交流基金	(普通・りそな銀行本郷支店)	20,133,830	
退職給与引当預金		17,500,000	
特定資産合計		<u>160,284,458</u>	
什器備品		84,957	
保証金		930,000	
その他固定資産合計		<u>161,299,415</u>	
固定資産合計			191,299,415
資産合計			<u>327,018,916</u>

科 目	金 額		
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 前受金			
平成 22 年度会費・部会費等		51,823,000	
(2) 未払金			
英文誌印刷費等		2,785,000	
日病会誌印刷費等		5,511,599	
会報印刷費		95,550	
諸印刷費		67,200	
諸会費		500,000	
未払消費税等		400,000	
未払法人税等		5,611,817	
未払金合計		<u>14,971,166</u>	
(3) 預り金			
英文誌カラー印刷		1,745,000	
源泉所得税等		160,124	
預り金合計		<u>1,905,124</u>	
流動負債合計			68,699,290
2. 固定負債			
(1) 退職給与引当金		17,500,000	
固定負債合計			<u>17,500,000</u>
負債合計			<u>86,199,290</u>
正味財産			<u>240,819,626</u>

7. 平成 22 年度収支決算修正案について

社団法人日本病理学会平成 22 年度収支決算書について、100 周年記念事業関係費の記載を明瞭化したため、修正案を提示し、原案のとおり決定した。

社団法人日本病理学会平成 22 年度収支決算（修正）

1) 収支計算書

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I. 収入の部				
1. 基本財産運用収入	50,000	9,248	△ 40,752	
受取利息収入	50,000	9,248	△ 40,752	
2. 会費収入	70,560,000	85,316,000	14,756,000	
正会員・学術評議員会費	28,000,000	32,598,000	4,598,000	
同終身会費	3,000,000	4,300,000	1,300,000	
同一般会員会費	27,000,000	34,078,000	7,078,000	
学生会員会費	10,000	0	△ 10,000	
賛助会員会費	150,000	100,000	△ 50,000	
機関会員会費	400,000	380,000	△ 20,000	
病理専門医部会員会費	12,000,000	13,860,000	1,860,000	
3. 事業収入	132,700,000	150,715,330	18,015,330	
学術集会収入	90,000,000	107,152,172	17,152,172	
論文掲載料収入	900,000	779,172	△ 120,828	
広告料収入	800,000	634,200	△ 165,800	
刊行物発行収入	14,000,000	11,622,000	△ 2,378,000	
専門医制度収入	16,000,000	18,790,000	2,790,000	
病理専門医部会収入	4,000,000	4,134,502	134,502	
講習会等収入	4,500,000	5,030,000	530,000	
賠償責任保険事務費収入	2,500,000	2,573,284	73,284	
4. 寄付金収入	0	30,440,500	30,440,500	
100 周年記念事業寄付金収入	0	30,440,500	30,440,500	
5. 特定資産取崩収入	3,400,000	27,100,110	23,700,110	
学術医療振興基金取崩収入	3,400,000	3,440,000	40,000	
100 周年記念事業引当預金取崩収入	0	23,660,110	23,660,110	
6. 雑収入	4,400,000	7,611,874	3,211,874	
受取利息収入	400,000	69,601	△ 330,399	
雑収入	4,000,000	7,542,273	3,542,273	
当期収入合計 (A)	211,110,000	301,193,062	90,083,062	
前期繰越収支差額	45,481,000	67,020,211	18,013,620	
収入合計 (B)	256,591,000	368,213,273	108,096,682	

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
II. 支出の部				
1. 事業支出	166,500,000	196,349,642	29,849,642	
学術集会経費	89,500,000	109,666,992	20,166,992	
学会誌発行経費	15,000,000	16,626,105	1,626,105	
会報・お知らせ発行経費	3,000,000	1,498,310	△ 1,501,690	
剖検輯報刊行経費	11,000,000	10,095,514	△ 904,486	
専門医制度運営経費	9,000,000	10,652,687	1,652,687	
病理専門医部会経費	8,000,000	9,257,890	1,257,890	
支部運営経費	6,500,000	6,500,000	0	
学術奨励等経費	3,500,000	3,572,673	72,673	
講習会等経費	4,500,000	4,758,784	258,784	
各種委員会経費	3,500,000	4,102,949	602,949	
事業人件費	8,000,000	5,700,738	△ 2,299,262	

租税公課	5,000,000	0	△ 5,000,000	管理費で支出
病理情報ネットワークセンター設立経費	0	9,717,000	9,717,000	
100 周年記念誌刊行経費	0	4,200,000	4,200,000	
2. 管理費	28,530,000	33,517,317	4,987,317	
人件費	10,000,000	11,806,845	1,806,845	
福利厚生費	2,500,000	2,814,853	314,853	
交通費	400,000	683,080	283,080	
通信運搬費	3,000,000	1,366,034	△ 1,633,966	
会議費	2,000,000	2,488,261	488,261	
印刷費	2,500,000	1,831,077	△ 668,923	
備品費	200,000	0	△ 200,000	
消耗品費	500,000	544,743	44,743	
光熱費	230,000	235,175	5,175	
賃借料	2,700,000	3,877,551	1,177,551	
諸会費	900,000	400,000	△ 500,000	
補助金	0	0	0	
修繕費	100,000	0	△ 100,000	
嘱託料	2,500,000	2,591,100	91,100	
租税公課 (消費税等)	500,000	859,500	359,500	
(法人税等)	0	3,033,800	3,033,800	予算を事業費で計上
雑費	500,000	696,479	196,479	
100 周年記念事業管理経費	0	288,819	288,819	
3. 特定預金支出	4,600,000	45,825,263	41,225,263	
退職給付引当預金取得支出	1,600,000	1,600,000	0	
学術医療振興基金取得支出	3,000,000	4,324,658	1,324,658	
国際交流基金取得支出	0	5,814	5,814	
100 周年記念事業引当預金取得支出	0	39,894,791	39,894,791	
4. 予備費	3,000,000	0	△ 3,000,000	
当期支出合計 (C)	202,630,000	275,692,222	73,062,222	
当期収支差額 (A-C)	8,480,000	25,500,840	17,020,840	
次期繰越収支差額 (B-C)	53,961,000	92,521,051	35,034,460	

2) 貸借対照表

平成 23 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	111,603,887		
前払金	201,243		
未収金	408,855		
流動資産合計		112,213,985	
2. 固定資産			
基本財産			
基本財産	30,000,000		
基本財産合計	30,000,000		
その他の固定資産			
特定資産			
学術医療振興基金	99,875,176		
100 周年記念事業引当預金	39,855,651		
同上 (現金保有分)	39,140		
国際交流基金	20,139,644		
退職給付引当預金	19,100,000		
特定資産合計	179,009,611		
什器備品	84,957		
保証金	930,000		
その他固定資産合計	180,024,568		
固定資産合計		210,024,568	

資産合計			322,238,553
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	1,770,000		
未払金	13,106,284		
預り金	4,816,650		
流動負債合計		19,692,934	
2. 固定負債			
退職給付引当金	19,100,000		
固定負債合計		19,100,000	
負債合計			38,792,934
III. 正味財産の部			
正味財産			283,445,619
(うち基本財産)			(30,000,000)
(うち正味財産当期増加額)			(42,625,993)
負債及び正味財産合計			322,238,553

3) 正味財産増減計算書

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	9,248	12,019	△ 2,771
基本財産受取利息	9,248	12,019	△ 2,771
② 受取会費	85,316,000	74,692,000	10,624,000
学術評議員会費	36,898,000	29,212,000	7,686,000
一般会員等会費	34,558,000	33,408,000	1,150,000
病理専門医部会費	13,860,000	12,072,000	1,788,000
③ 事業収益	150,715,330	135,440,483	15,274,847
学術集会収入	107,152,172	94,330,511	12,821,661
論文掲載料収入	779,172	1,160,828	△ 381,656
広告料収入	634,200	936,600	△ 302,400
刊行物発行収入	15,756,502	16,124,013	△ 367,511
専門医制度収入	18,790,000	15,942,000	2,848,000
講習会等収入	5,030,000	4,421,000	609,000
賠償保険事務費収入	2,573,284	2,525,531	47,753
④ 受取寄付金	30,440,500	3,680,000	26,760,500
寄付金収入	30,440,500	3,680,000	26,760,500
⑤ 雑収入	7,611,874	4,732,353	2,879,521
受取利息	69,601	110,923	△ 41,322
著作権協会分配金	40,740	899,200	△ 858,460
科学技術振興事業団	112,031	542,640	△ 430,609
Pathol Int ロイヤリティ	0	2,510,240	△ 2,510,240
出版印税	3,707,745	0	3,707,745
医中雑刊著作権使用料	30,240	25,620	4,620
刊行物編集協力金	1,028,160	621,240	406,920
雑収入	2,623,357	22,490	2,600,867
経常収益計	274,092,952	218,556,855	55,536,097
(2) 経常費用			
① 事業費			
学術集会費	109,666,992	93,061,189	16,605,803
学会誌発行費	16,626,105	27,317,770	△ 10,691,665
会報発行費	1,498,310	2,948,400	△ 1,450,090
剖検輯報発行費	10,095,514	10,921,737	△ 826,223
専門医制度運営費	10,652,687	10,008,963	643,724
病理専門医部会費	9,257,890	8,429,997	827,893
支部運営費	6,500,000	6,500,000	0
学術奨励等費	3,572,673	3,174,705	397,968
講習会等経費	4,758,784	3,406,101	1,352,683

各種委員会費	4,102,949	4,350,703	△ 247,754
事業人件費	5,700,738	5,828,014	△ 127,276
情報ネットワークセンター設立	9,717,000	0	9,717,000
百周年記念誌刊行経費	4,200,000	0	4,200,000
事業費計	196,349,642	175,947,579	20,402,063
② 管理費			
人件費	11,806,845	8,464,998	3,341,847
退職給付費用	1,600,000	1,600,000	0
福利厚生費	2,814,853	2,145,720	669,133
交通費	683,080	270,000	413,080
通信運搬費	1,366,034	2,776,736	△ 1,410,702
会議費	2,488,261	1,658,312	829,949
印刷費	1,831,077	1,963,105	△ 132,028
消耗品費	544,743	255,483	289,260
光熱水道費	235,175	241,254	△ 6,079
賃借料	3,877,551	3,958,243	△ 80,692
諸会費	400,000	900,000	△ 500,000
嘱託料	2,591,100	2,458,500	132,600
租税公課	3,893,300	7,035,517	△ 3,142,217
雑費	696,479	599,843	96,636
100周年記念事業経費	288,819	0	288,819
管理費計	35,117,317	34,327,711	789,606
経常費用計	231,466,959	210,275,290	21,191,669
当期経常増減額	42,625,993	8,281,565	34,344,428
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	42,625,993	8,281,565	34,344,428
法人税、住民税及び事業税			0
当期一般正味財産増減額	42,625,993	8,281,565	34,344,428
一般正味財産期首残額	240,819,626	232,538,061	8,281,565
一般正味財産期末残額	283,445,619	240,819,626	42,625,993
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残額	0	0	0
指定正味財産期末残額	0	0	0
III 正味財産期末残高	283,445,619	240,819,626	42,625,993

4) 財産目録

平成 23 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金・預金			
現金	現金手許有高	420,501	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	8,581,594	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	14,076,378	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	37,306,339	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	36,551,094	
普通預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店	149,870	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	929,309	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	352,923	
普通預金	みずほ銀行本郷支店	12,179,361	
定期預金	みずほ銀行本郷支店	143,893	
郵便振替貯金		912,625	
現金・預金合計		111,603,887	
(2) 前払金			
家賃		195,300	

会費自動振替手数料	5,943		
前払金合計	201,243		
(3) 未収金			
学会誌発行収入等	408,855		
流動資産合計		112,213,985	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	30,000,000		
(普通三菱東京UFJ銀行本郷支店)			
基本財産合計	30,000,000		
(2) その他の固定資産			
特定資産			
学術医療振興基金	99,875,176		
(普通三菱東京UFJ銀行春日町支店)			
100周年記念事業引当預金			
(郵便振替貯金)	39,855,651		
(現金)	39,140		
国際交流基金	20,139,644		
(普通・りそな銀行本郷支店)			
退職給付引当預金	19,100,000		
特定資産合計	179,009,611		
什器備品	84,957		
保証金	930,000		
その他固定資産合計	180,024,568		
固定資産合計		210,024,568	
資産合計			322,238,553

科 目	金 額		
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 前受金			
平成22年度会費・部会費等	1,770,000		
(2) 未払金			
英文誌印刷費等	4,070,000		
日病会誌印刷費等	5,515,000		
会議費	93,984		
未払消費税等	400,000		
未払法人税等	3,027,300		
未払金合計	13,106,284		
(3) 預り金			
英文誌カラー印刷	4,666,000		
源泉所得税等	150,650		
預り金合計	4,816,650		
流動負債合計		19,692,934	
2. 固定負債			
(1) 退職給付引当金	19,100,000		
固定負債合計		19,100,000	
負債合計			38,792,934
正味財産			283,445,619

8. 平成23年度収支予算修正案について

社団法人日本病理学会平成23年度収支決算書について、前期繰越収支差額を現状に合わせたため、修正案を提示し、原案のとおり決定した。

社団法人日本病理学会平成23年度収支予算書（修正）

平成23年4月1日から平成24年3月31日

(単位 円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I. 収入の部				
1. 基本財産運用収入	15,000	50,000	△ 35,000	
受取利息収入	15,000	50,000	△ 35,000	
2. 会費収入	60,630,000	70,560,000	△ 9,930,000	
学術評議員会費収入	22,400,000	28,000,000	△ 5,600,000	会費 20,000 → 16,000
終身会費収入	3,000,000	3,000,000	0	
一般会員会費収入	22,740,000	27,000,000	△ 4,260,000	会費 15,000 → 13,000
学生会員会費収入	10,000	10,000	0	
賛助会員会費収入	150,000	150,000	0	
機関会員会費収入	330,000	400,000	△ 70,000	
病理専門医部会費収入	12,000,000	12,000,000	0	
3. 事業収入	131,700,000	132,700,000	△ 1,000,000	
学術集会収入	90,000,000	90,000,000	0	
論文掲載料収入	900,000	900,000	0	
広告料収入	800,000	800,000	0	
刊行物発行収入	13,000,000	14,000,000	△ 1,000,000	
専門医制度収入	16,000,000	16,000,000	0	
病理専門医部会収入	4,000,000	4,000,000	0	
講習会等収入	4,500,000	4,500,000	0	
賠償責任保険事務費収入	2,500,000	2,500,000	0	
4. 特定資産取崩収入	28,480,000	3,400,000	25,080,000	
学術医療振興基金取崩収入	3,480,000	3,400,000	80,000	
100周年記念事業引当預金取崩収入	25,000,000	0	25,000,000	100周年記念 事業寄付繰越
5. 雑収入	2,100,000	4,400,000	△ 2,300,000	
受取利息収入	100,000	400,000	△ 300,000	
雑収入	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000	PINロイヤリティ無
当期収入合計 (A)	222,925,000	211,110,000	11,815,000	
前期繰越収支差額	92,521,000	45,481,000	47,040,000	
収入合計 (B)	315,446,000	256,591,000	58,855,000	

(単位 円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
II. 支出の部				
1. 事業費	172,500,000	166,500,000	6,000,000	
学術集会経費	89,000,000	89,500,000	△ 500,000	
学会誌発行経費	15,000,000	15,000,000	0	
会報等発行経費	2,000,000	3,000,000	△ 1,000,000	会報PDF「お知らせ」郵送
割検輯報刊行経費	11,000,000	11,000,000	0	
専門医制度運営経費	10,000,000	9,000,000	1,000,000	
病理専門医部会経費	8,000,000	8,000,000	0	
支部運営経費	6,500,000	6,500,000	0	
学術奨励等経費	3,000,000	3,500,000	△ 500,000	
講習会等経費	3,500,000	4,500,000	△ 1,000,000	
各種委員会経費	3,500,000	3,500,000	0	
事業人件費	8,000,000	8,000,000	0	
100周年記念事業経費	13,000,000	0	13,000,000	新規
租税公課（法人税等）	0	5,000,000	△ 5,000,000	管理費支出へ
2. 管理費	32,050,000	28,530,000	3,520,000	
人件費	10,000,000	10,000,000	0	
福利厚生費	2,500,000	2,500,000	0	
交通費	400,000	400,000	0	
通信運搬費	2,700,000	3,000,000	△ 300,000	
会議費	2,000,000	2,000,000	0	
印刷費	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	
備品費	200,000	200,000	0	
消耗品費	300,000	500,000	△ 200,000	

光熱費	250,000	230,000	20,000	
賃借料	4,000,000	2,700,000	1,300,000	OA 機器リース料含む
諸会費	900,000	900,000	0	
修繕費	100,000	100,000	0	
嘱託料	2,500,000	2,500,000	0	
租税公課 (消費税等)	700,000	500,000	200,000	
(法人税等)	3,000,000	0	3,000,000	事業費支出より
雑費	500,000	500,000	0	
3. 特定預金支出	16,600,000	4,600,000	12,000,000	
退職給与引当預金取得支出	1,600,000	1,600,000	0	
学術医療振興基金等取得支出	3,000,000	3,000,000	0	
100周年記念事業引当預金取得支出	12,000,000	0	12,000,000	
4. 予備費	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000	
当期支出合計 (C)	222,150,000	202,630,000	19,520,000	
当期収支差額 (A-C)	775,000	8,480,000	△ 7,705,000	
次期繰越収支差額 (B-C)	93,296,000	53,961,000	39,335,000	

9. 平成 24 年度事業計画並びに収支予算について

社団法人日本病理学会平成 24 年度事業計画並びに収支予算は、今総会において以下のとおり決定した。

〔事業の概要〕

I. 学術集会、研究会等の開催

1. 学術集会の開催

- (1) 第 101 回日本病理学会総会（於東京・岡田保典会長）
- (2) 第 58 回日本病理学会秋期特別総会（於名古屋・黒田 誠会長）

2. 研究会、講習会等の開催

- (1) 第 9 回日本病理学会カンファレンス
- (2) 細胞診講習会
- (3) 病理診断講習会
- (4) 各支部における学術・研究集会
- (5) 第 6 回診断病理サマーフェスト

3. 公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌、学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」の発行（第 101 巻第 1～2 号）
2. 「Pathology International」の発行（Vol. 62 4～12, Vol. 63 1～3）
3. 「診断病理」の発行（第 29 巻第 2～4 号, 第 30 巻第 1 号）
4. 「日本病理学会会報」の発行（第 291～302 号）
5. 「病理専門医部会報」の発行（2012 年 第 2～4 号, 2013 年 第 1 号）

III. 研究および調査

1. 「日本病理剖検輯報」の発行 第 53 輯（平成 22 年症例）
2. 剖検輯報編集方法の変更・充実
3. 剖検記録データベースの再構築

IV. 病理専門医等の資格認定

1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施及

び資格の更新

2. 病理専門医の広告
3. 研修手帳の実施
4. 研修施設の認定および資格の更新

V. 学術団体との協力、連絡

1. 学術団体等との会議共催および後援
2. 腫瘍取扱い規約等の改訂
3. 海外病理学会との交流
 - (1) 英国病理学会との会員の相互派遣、学術交流
 - (2) ドイツ病理学会との学術交流
 - (3) アジア各国との学術交流

VI. その他目的を達成するために必要な事業

1. 日本病理学賞（宿題報告）の授与
2. 日本病理学会学術奨励賞の授与
3. 日本病理学会学術研究賞（A 演説）の授与
4. 病理学卒前教育の充実
5. 病理診断コンサルテーションシステムの充実
6. インターネットホームページの充実
7. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施
8. 病理専門医制度運営、医療業務、学術・研究等の各種委員会の開催
9. 100 周年記念事業特別基金プロジェクトの実施

○平成 24 年度収支予算

（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（単位 円）

科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I. 収入の部				
1. 基本財産運用収入	10,000	15,000	△ 5,000	
受取利息収入	10,000	15,000	△ 5,000	
2. 会費収入	58,990,000	60,630,000	△ 1,640,000	
学術評議員会費収入	20,000,000	22,400,000	△ 2,400,000	65 歳定年制導入による減
終身会費収入	3,000,000	3,000,000	0	
一般会員会費収入	23,500,000	22,740,000	760,000	学術評議員から一般会員へ
学生会員会費収入	10,000	10,000	0	
賛助会員会費収入	100,000	150,000	△ 50,000	
機関会員会費収入	380,000	330,000	50,000	
病理専門医部会費収入	12,000,000	12,000,000	0	
3. 事業収入	131,900,000	131,700,000	200,000	
学術集会収入	90,000,000	90,000,000	0	
論文掲載料収入	900,000	900,000	0	
広告料収入	800,000	800,000	0	
刊行物発行収入	12,000,000	13,000,000	△ 1,000,000	
専門医制度収入	17,000,000	16,000,000	1,000,000	
病理専門医部会収入	3,700,000	4,000,000	△ 300,000	
講習会等収入	5,000,000	4,500,000	500,000	
賠償責任保険事務費収入	2,500,000	2,500,000	0	
4. 特定資産取崩収入	8,050,000	28,480,000	△ 20,430,000	
学術医療振興基金取崩収入	3,650,000	3,480,000	170,000	
100周年記念事業引当預金取崩収入	1,000,000	25,000,000	△ 24,000,000	
「100周年記念特別基金」準備預金取崩収入	3,400,000	0	3,400,000	新設
5. 雑収入	2,070,000	2,100,000	△ 30,000	
受取利息収入	70,000	100,000	△ 30,000	

雑収入	2,000,000	2,000,000	0
当期収入合計 (A)	201,020,000	222,925,000	△ 21,905,000
前期繰越収支差額	93,296,000	92,521,000	775,000
収入合計 (B)	294,316,000	315,446,000	△ 21,130,000

(単位 円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
II. 支出の部				
1. 事業費	162,400,000	172,500,000	△ 10,100,000	
学術集会経費	90,000,000	89,000,000	1,000,000	
学会誌発行費経費	16,000,000	15,000,000	1,000,000	
会報等発行経費	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	
剖検輯報刊行経費	10,000,000	11,000,000	△ 1,000,000	
専門医制度運営費経費	10,000,000	10,000,000	0	
病理専門医協会経費	8,000,000	8,000,000	0	
支部運営経費	6,500,000	6,500,000	0	
学術奨励等経費	3,500,000	3,000,000	500,000	
講習会等経費	3,500,000	3,500,000	0	
各種委員会経費	4,000,000	3,500,000	500,000	
事業人件費	5,000,000	8,000,000	△ 3,000,000	
100周年記念事業経費	0	13,000,000	△ 13,000,000	
病理情報ネットワークセンター運営費	1,000,000	0	1,000,000	新設
「100周年記念特別基金」プロジェクト経費	3,400,000	0	3,400,000	新設
2. 管理費	30,500,000	32,050,000	△ 1,550,000	
人件費	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000	
福利厚生費	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	
交通費	450,000	400,000	50,000	
通信運搬費	2,500,000	2,700,000	△ 200,000	
会議費	2,200,000	2,000,000	200,000	
印刷費	2,000,000	2,000,000	0	
備品費	200,000	200,000	0	
消耗品費	400,000	300,000	100,000	
光熱費	250,000	250,000	0	
賃借料	4,000,000	4,000,000	0	
諸会費	900,000	900,000	0	
修繕費	100,000	100,000	0	
嘱託料	3,000,000	2,500,000	500,000	
租税公課 (消費税等)	1,000,000	700,000	300,000	
(法人税等)	3,000,000	3,000,000	0	
雑費	500,000	500,000	0	
3. 特定預金支出	4,600,000	16,600,000	△ 12,000,000	
退職給与引当預金取得支出	1,600,000	1,600,000	0	
学術医療振興基金等取得支出	3,000,000	3,000,000	0	
100周年記念事業引当預金取得支出	0	12,000,000	△ 12,000,000	
4. 予備費	1,000,000	1,000,000	0	
当期支出合計 (C)	198,500,000	222,150,000	△ 23,650,000	
当期収支差額 (A-C)	2,520,000	775,000	1,745,000	
次期繰越収支差額 (B-C)	95,816,000	93,296,000	2,520,000	

10. 第59回(平成25年度)秋期特別総会会長の選出について

第59回(平成25年度)秋期特別総会会長は、加藤良平教授(山梨大学)に決定した。

11. 第103回(平成26年度)総会会長の選出について

第103回(平成26年度)総会の会長は、安井弥教授(広島大学)に決定した。

12. 第102回(平成25年度)総会宿題報告担当者等の決定について

- (1) 平成25年度宿題報告担当者は、福本学(東北大学)、中山淳(信州大学)、八木橋操六(弘前大学)の学術評議員に決定した。
- (2) 平成24年度病理診断シリーズ講演者は、小島勝(獨協医科大学)、野島孝之(金沢医科大学)の学術評議員に決定した。

13. COI(利益相反)の件

- (1) 伏木信次COI委員長より、COIマネジメントの実施について、説明があった。
医学研究においては、不可避免的に個人の利益と社会的責任が衝突する利益相反状態(COI)が発生する可能性がある。これを学会として適切にマネジメントし、その研究成果の正当性を担保する仕組みが必要となった。これをうけて「医学研究のCOIマネジメントに関する指針案」および「施行細則案」を策定し、本年3月28日の理事会で承認された。HPでも公表している、この指針案、施行細則案につき、本学会終了後より正式に適用されることが、満場一致で承認された。今後、すべての本学会事業活動への参加者・関係者は、この指針にそって必要なCOI状態の開示を行うことが義務づけられるが、まず、新役員から自己申告書類の提出を行う。
- (2) フロアより、「検査センター」も利益を供与する企業に含まれるかという質問があった。伏木委員長より、すべての企業が関係すると回答された。

14. 新法人移行の件

- (1) 寺田信行副理事長より、一般社団法人・公益社団法人選択について説明があった。

① 検討の経過について

従来の社団法人は、平成25年11月末までに新制度での一般社団法人または公益社団法人のどちらかに移行することが義務づけられたため、本学会でも向井副理事長を委員長とした検討委員会で、その選択に関する検討を行ってきた。その検討結果に基づき、常任理事会、理事会では「一般社団法人を選択する。しかし今後、公益社団法人制度の運用状況、一般社団法人を選択した他学会の状況を十分調査し、必要と判断された場合は公益社団法人化も検討する。」との結論に達

した。このことは、一般社団法人申請に向けて準備をすすめることとあわせて前回総会にてすでに報告済みである。この内容についてはその後HPにも掲載したが、質問、意見は特によせられなかった。

② 選択の要点について

法人の組織運営機構（内部統治機構）は社員総会、理事、理事会、監事を置くという形で、基本的な相違はない。事業内容が主に公益事業の一般社団法人は、申請すれば公益社団法人として認可され、税制上の優遇が与えられるが、事業活動、財政運営における制約が課せられ、行政庁の厳格な監督を受ける必要が生じる。

③ 結論

現在の日本病理学会の財政運営状況から判断すると、公益社団法人での税制上の優遇のメリットは少なく、また新公益社団法人制度下での行政庁の監督の基準、範囲、程度も不明確である。

従って、「一般社団法人を選択し、一般社団法人申請の準備をする。一般社団法人になった後でも、公益社団法人になることはできるので、公益社団法人制度の運用状況、一般社団法人を選択した他学会の状況を十分調査して、必要と判断された場合は、公益社団法人化も検討する」こととする。

以上の説明の後に、『日本病理学会は、一般社団法人を選択する』との方針の承認が諮られ、この方針が満場一致で承認され、本学会は新制度下の一般社団法人へ移行申請することが決定した。

(2) 引き続き寺田副理事長より、一般社団法人移行のための、新定款案・定款施行細則案策定について説明がされた。

① 新一般社団法人定款案および定款施行細則作成経過

先の説明のとおり、一般社団法人申請ワーキンググループ（WG）を立ち上げ、平成25年4月1日発足に向けて準備を行ってきた。まず、現在の定款を新法人に適合する形に修正した「新一般社団法人定款案（第1版）」の作成を行政書士に依頼し、それを基に検討を開始した。途中資産・会計の項目を公認会計士に、全体を監督官庁である内閣府にそれぞれ指導を仰ぐなど、専門家の意見もきいている。第7版定款案（8月25日版）については、全会員に郵送配布し（平成23年9月29日発送）、質問、意見を募り、今回提示している最終定款案（第9版：11月1日版）が完成した。新定款施行細則案についても同様に策定した。

② 本総会への提案

本総会是新定款承認に必要な規定数、正会員の4分の3にあたる出席者（委任状を含む）があるので、下記付帯条件を付けた形で新一般社団法人新定款案、および新定款施行細則案につき、お諮りする。

- 1) 軽微な修正については、理事長に一任する。
- 2) 現定款、定款施行細則に変更がある場合は、それ

に従い新定款案、新定款施行細則案を修正する。

協議の結果、付帯条件も含め、新一般社団法人定款案、および新定款施行細則案が原案のとおり満場一致で承認された。施行は新法人移行時となる。

15. 学術評議員定款施行細則および資格基準について

(1) 学術評議員65歳定年制実施に伴う定款施行細則改定について

前回総会でその導入が承認された学術評議員65歳定年制を実施するにあたり、定款施行細則改定案が提示され、向井清副理事長より説明された。現在「任期を定めなし」としているものが、「学術評議員の任期は満65歳に達した年度の3月31日までとする。」となる。この改定案が満場一致で承認され、平成24年1月1日より施行する。

(2) 学術評議員資格基準について向井副理事長より報告があった。

- ① 学術評議員は各種委員会の委員に選ばれる資格や、役員候補者を選出する資格があり、学会の運営の中核を担うものであるが、現在の規定では、選任の基準が明確でないところもある。
- ② この件につき、ワーキンググループを結成し、会員の意見も参考にして検討を重ね、下記新基準を策定した。
- ③ 現在の資格に以下の条件の一つを満たすことを加えた。
 - 1) 病理学に関する原著論文3編以上で、少なくとも1件の筆頭著者である
 - 2) 病理専門医あるいは口腔病理専門医資格取得者で論文発表の筆頭著者1編以上
 - 3) 会員歴は満たさないが傑出した業績をあげていると資格審査委員会で認められた者
- ④ この提案は理事会承認を得たため施行が決定している。平成24年度推薦者から適用となる。

16. 事務局移転について

現在の本学会事務局は、手狭で委員会開催等にも支障があり、安全性も高いとはいえない状況であるため、青笹理事長より、現事務局を移転させることが提案された。この件は本総会承認を前提に、『100周年記念事業特別基金』プロジェクトの一つとして採用されている。また現在の事務局所在地は、定款で規定されているため、移転先が決定した場合、定款の変更となること、移行期には、一時的に副事務所を設置する可能性があることもあわせて承認されたい旨、説明された。

移転の件、定款変更の件、副事務所設置の件ともに満場一致で承認された。今後記念プロジェクトの一環として、具体的な移転計画を検討していく。

17. 平成23年度認定施設、登録施設（第34回）審査について

認定施設、登録施設としての新規の申請は、8件、24件であった。審査の結果、認定施設は7件、登録施設はすべてが承認された。認定（登録）期間は、平成23年4月1日から平成25年3月31日までである。

(1) 認定施設

認定番号	病院名
2038	財団法人厚生会仙台厚生病院
3037	社会保険船橋中央病院
3141	医療法人徳洲会茅ヶ崎徳洲会総合病院
3952	東京女子医科大学附属八千代医療センター
5089	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院
5090	兵庫県立加古川医療センター
7029	熊本赤十字病院

(2) 登録施設

登録番号	病院名
2033	青森市民病院
2034	米沢市立病院
2035	公立岩瀬病院
3126	水戸済生会総合病院
3127	深谷赤十字病院
3128	国家公務員共済組合連合会東京共済病院
3129	茅ヶ崎市立病院
3130	社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院
4117	独立行政法人長野県立病院機構長野県立木曾病院
4118	袋井市立袋井市民病院
4119	名古屋市立西部医療センター
4120	常滑市民病院
4121	愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院
4122	愛知県厚生農業協同組合連合会尾西病院
4123	西日本電信電話株式会社東海病院
5099	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院
5100	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院
5111	三田市民病院
5112	医療法人伯鳳会赤穂中央病院
6067	島根県立中央病院
6068	総合病院岡山市立市民病院
7080	福岡山王病院
7081	独立行政法人国立病院機構長崎川棚医療センター
7082	聖フランシスコ病院